

バックしてきた、夫運転の車に妻はねられ死亡

◆バック時は、後方の安全確認◆

2015/05/06

5日午後5時すぎ、熊本県の道路で農作業をしていた女性が、下り坂をバックしてきた夫が運転する軽トラックにひかれました。この事故で農業の女性(89)が全身を強く打ち死亡しました。事故直前、女性と夫(89)は近くの畑で一緒に収穫をしていたということです。警察は、女性が収穫した玉ねぎを軽トラックの荷台に積んでいた時に夫が気が付かず軽トラックをバックさせたこととみて詳しい事故の原因を調べています。

◆追突・バック事故の根絶◆

- ・前を走行する車には、適切な車間距離を保ちましょう
- ・交差点付近では、早目に減速しましょう
- ・わき見・漫然運転はせず、「危険意識」をもって運転に集中しましょう
- ・バック時は、必ず目で確認し、「安易なバック」はやめましょう

周囲の車の急な動きに要注意

- 急な車線変更 (合図なしの場合も多くあります)
- 急ブレーキを伴う、急な右折、左折 (追突に注意)

歩行者・自転車・バイクの確認！ 見えたら「先に行かせる」

停車してる車両(バス・タクシー・子供の送り迎えの車)から渡って来るかもしれない・・・、飛び出して来るかもしれない

交差点 「右左確認／よ～し！」

走行中に路線バスのタイヤ2本脱落

トンネル内で立ち往生 乗客にけがなし

◆運行前点検を確実に！◆

2015年5月6日(水)12時14分

5日午後4時すぎ、青森県のトンネル内で、路線バスが右後部のタイヤ2本の脱落によって停車する事故があった。バスはトンネル入り口付近から脱輪したまま約200メートル走行。乗客2人にけがはなかったが、警察は現場を約5時間にわたり片側通行止めにした。脱落したタイヤが他の車両などにぶつかる被害はなかった。異変に気付いた男性運転手がブレーキをかけて停車した。バス会社によると、整備士が出発前に打音や目視でナットの緩みやタイヤの空気圧の点検をしたが、異常はなかった。このバスは「スタッドレスタイヤから交換したばかりだった」(同社担当者)という。同社によると5日時点で事故原因は不明だが、「再発防止のために日々の点検整備を強化していく」(同社運輸事業部)とコメントした。

交差点で衝突、道路に投げ出され、首の骨を折る重傷

2015年5月6日(水)15時41分

6日午前8時すぎ、和歌山県の県道の信号交差点で、軽ワゴン車と軽トラックが衝突する事故が起きた。この事故で、軽トラックの助手席の男性(72)が、道路に投げ出されて、首の骨を折る重傷で病院に搬送されたほか、運転手の男性(75)が軽いけがをした。また、横転した軽ワゴン車の運転手の男性(25)も病院に搬送されていて、軽傷となっている。警察は、自動車運転過失致傷の疑いで実況見分を行い、当時の信号の状況など、くわしく調べている。

交差点、右折のバイクと直進車が衝突 バイクの男性重体

2015/05/06

5日午後7時半すぎ、熊本県の信号のある交差点で代行運転の随伴車と対向車線から右折してきたバイクが衝突しました。この事故でバイクを運転していた男性(77)が全身を強く打ち意識不明の重体です。代行運転の男性(66)は「衝突する直前にバイクに気付いた」と話している。